

AKIBA HOLDINGS

2024年3月期

第1四半期決算説明資料

2023年8月10日



1. トピックス・概況
2. 2024年3月期第1四半期決算
3. 2024年3月期業績予想
4. セグメント別概況

5. 参考資料

AKIBAホールディングスグループ 会社説明

※資料中の数字の単位は、別途指定ない限りすべて百万円

# 01

## トピックス・概況



# 今Qも引き続き通信建設テック事業が好調に推移し、 売上・利益とも順調に確保

通信建設テック事業が好調に推移し、2Q累計期間で上方修正

通信建設テック事業が引き続き好調に推移し、売上利益とも順調に確保。通期については、業績予想を据え置くものの、2Q累計期間では業績予想を上方修正

経済環境の変化に対応し骨太な事業基盤を構築

経済環境・社会環境の変化から不透明感が存在するため、先行きに対し注視が必要なものの、環境変化に対応したビジネスモデルの組み換えを実施し、安定した収益の獲得が可能な骨太な事業基盤の整備を引き続き推進

代表取締役社長を交代

事業の更なる成長を図るため、代表取締役副社長兼経営戦略本部長でありました堀礼一郎が代表取締役社長に就任いたしました。堀は当社子会社であります株式会社バディネットの創業社長であり、豊富な事業経験・経営経験を有しております

セグメント名の変更を実施

現在の各事業セグメントの事業内容に従い、メモリ・PC関連デバイス・IoT事業(旧メモリ製品製造販売事業)、通信建設テック事業(旧通信コンサルティング事業)へと一部セグメント名を変更

## 収益機会の拡大を目指し、引き続き更なる事業の成長を推進

2024年3月期においては、コロナ禍及びウクライナ情勢に影響を受けた世界経済は回復基調にはあるものの、依然、マーケット環境・為替状況の急激な変化から不確実性が強く、先行きが不透明であり、不安定な事業環境が継続するものと認識しております。

このような中、本第1四半期では、売上及び各段階利益とも引き続き順調に確保して参りました。

引き続き、経済環境の変化に対し注視を要しますが、事業規模の拡大から売上高については前期から増収を見込み、各段階利益については、更なる事業の成長を図るための投資に要する費用を見込んだこと等から、前期に比べ減益を予想しております。

今後も、新規商材の投入、成長事業への戦略投資、事業執行体制の強化により、更なる収益の拡大を推進してまいります。

	2022/3 1 Q実績	2023/3 1 Q実績	前期比	2024/3 予想	前期比
売上高	3,587	<b>3,828</b>	106.7%	<b>18,500</b>	123.3%
営業利益	172	<b>237</b>	137.5%	<b>1,000</b>	94.0%
経常利益	147	<b>224</b>	152.9%	<b>950</b>	92.1%
親会社株主に 帰属する 当期純利益	101	<b>143</b>	141.5%	<b>600</b>	85.5%
一株当たり 当期純利益	11.02円	<b>15.59円</b>		<b>65.32円</b>	

※本資料に記載されている業績見直し等の将来に関する記述は、当社が本資料作成時点において入手可能な情報及び当該情報に基づく過程に依拠しているため、リスクや不確実性を含んでいることから、実際の業績等は様々な要因により業績見直し等とは異なる可能性があり、当社がその実現を約束するものではありません

# 02

## 2024年3月期決算





メモリ・PC関連デバイス・IoT



株式会社アドテック

メモリ及びコンピュータ関連製品・IoTソリューション事業 等

通信建設テック



株式会社バディネット、株式会社リーバン

通信建設工事業、通信土木事業、コンタクトセンター事業 等

H P C  
(高性能科学技術計算機)



株式会社H P Cテック

高性能計算機の開発・製造及び販売事業

その他  
(旅館ほか)

Diamond pets & resort

株式会社ダイヤモンドペット&リゾート

旅館事業、ペット商品事業、IT事業、イベント事業、不動産事業 等

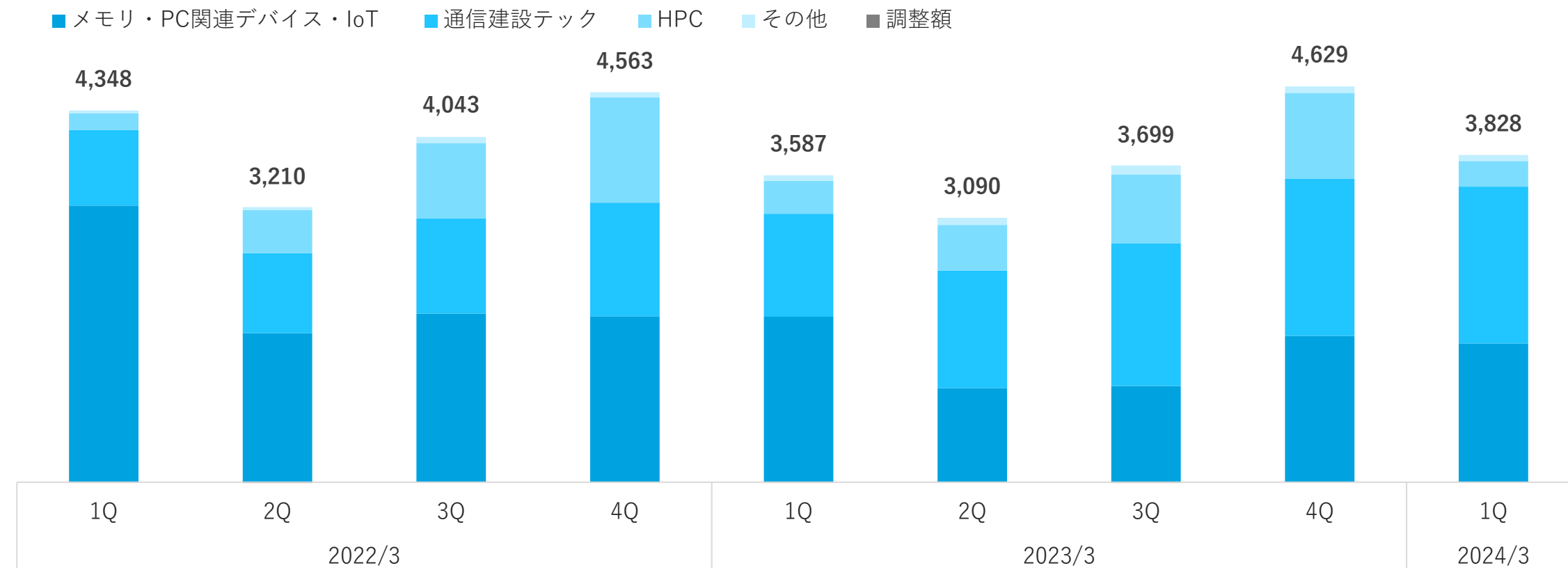
## 今Qも引き続き通信建設テック事業が好調に推移し、 売上・利益とも順調に確保

	売上高	前年同期比	営業利益	前年同期比	トピックス
連結	3,828	106.7%	237	137.5%	事業基盤の強化が進み、順調に成長
メモリ・PC関連デバイス ・IoT	1,623	83.8%	1	3.0%	メモリ関連製品の需要減及び成長投資の実施により減収減益
通信建設テック	1,836	152.3%	169	228.3%	通信設備の更新工事等が順調に進み 前期同Qに比べ大幅に成長
H P C (高性能科学技術計算機)	300	78.0%	35	390.2%	前期から推進の収益力改善努力が功を結び 前期同Qに比べ大幅に利益増
その他 (旅館ほか)	68	113.5%	30	121.6%	(全社費用等の調整額を含む)



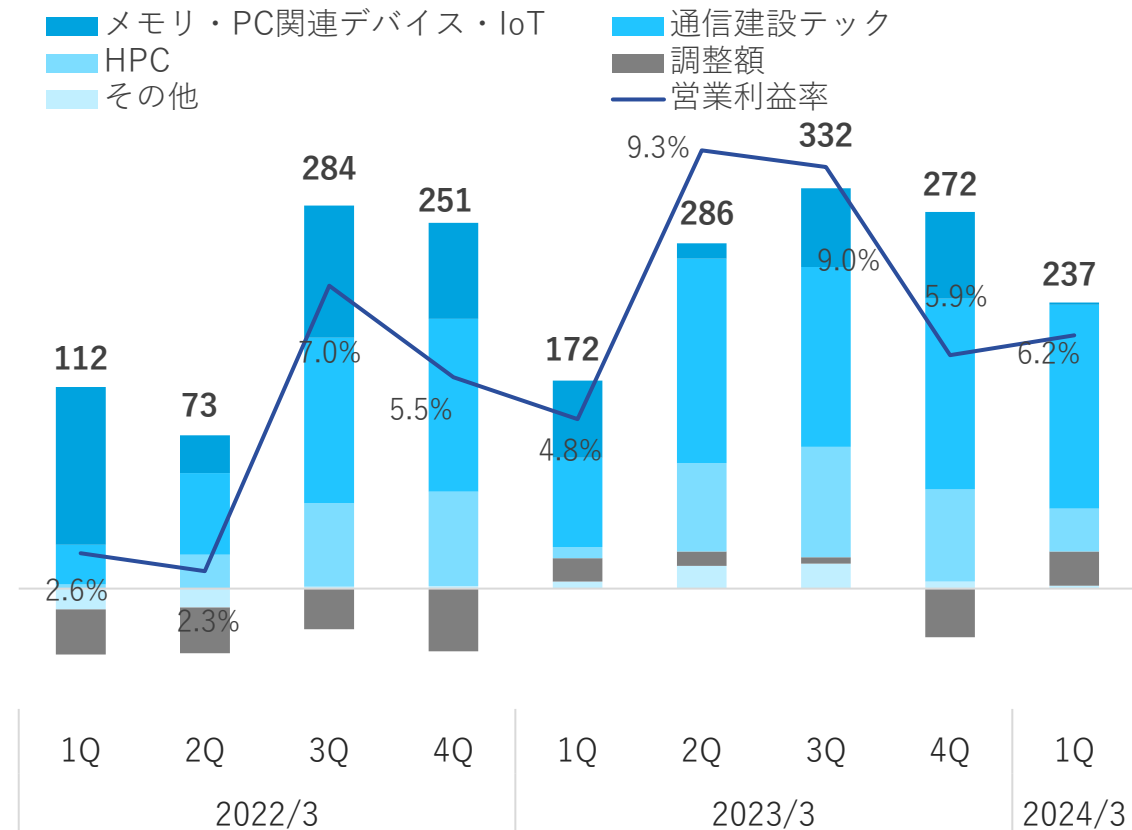
# 1Qとして堅調に売上高を確保

## 連結売上高

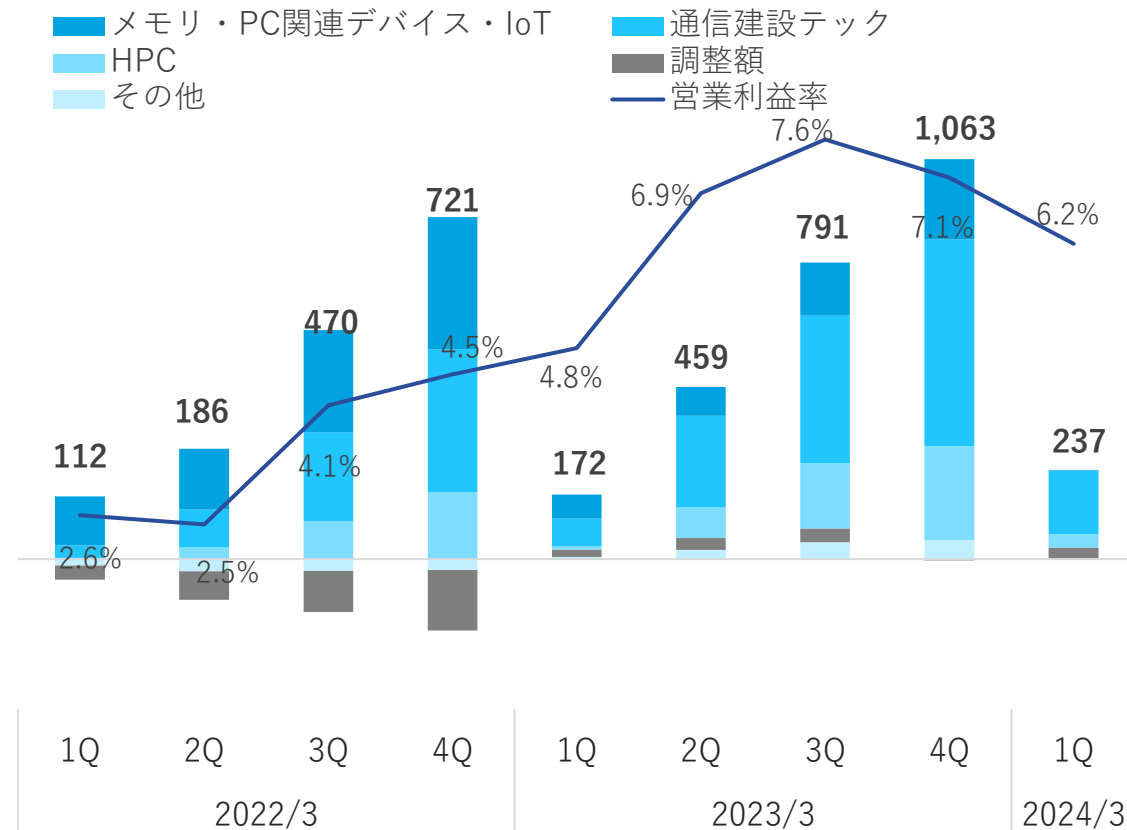


# 営業利益についても、1Qとして順調に確保

連結営業利益 会計期間

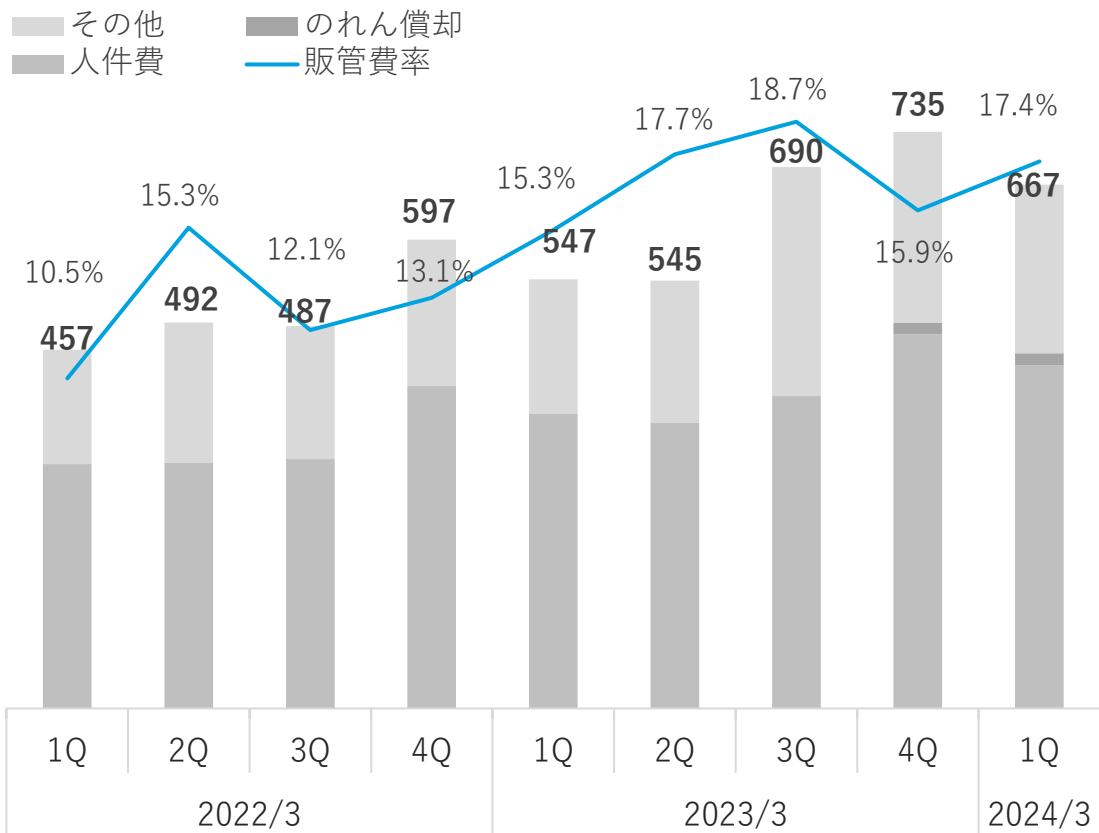


連結営業利益 累計期間

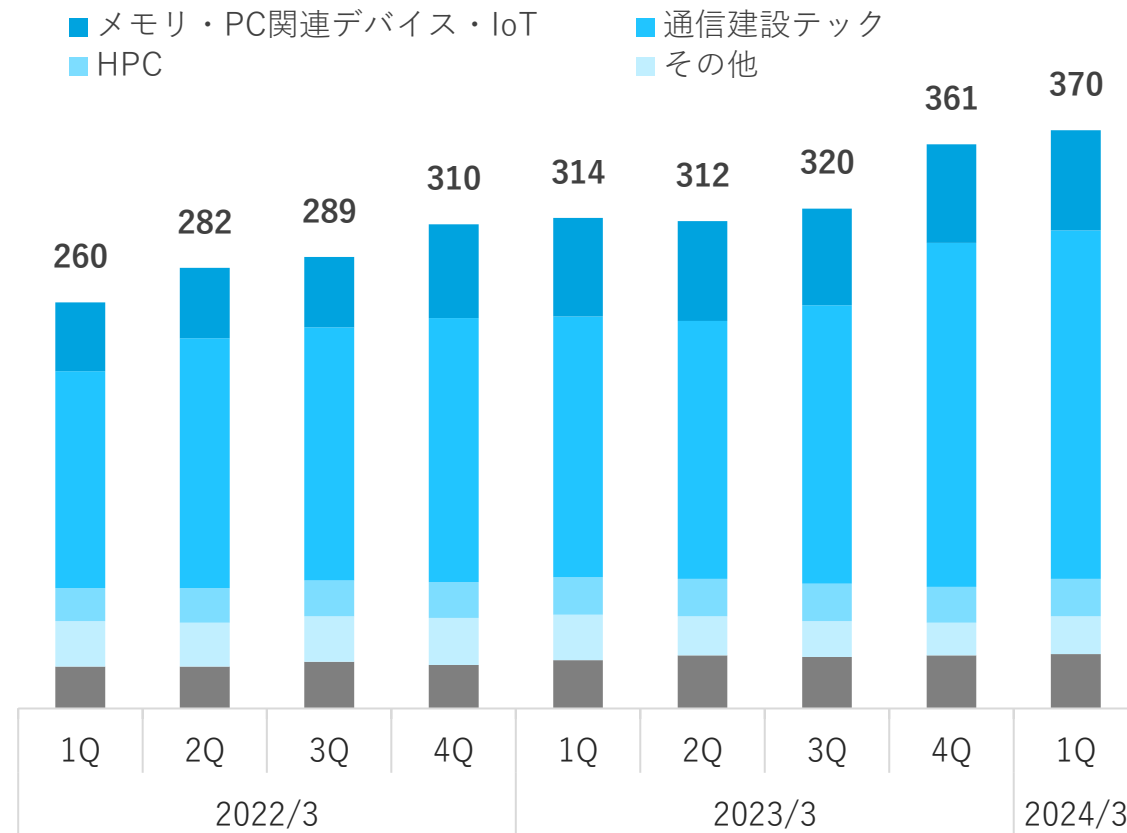


# 事業規模の拡大を図るため、積極的な人材の確保を推進

販売費及び一般管理費



役職員数 (人)



## 前期末とほぼ同規模のB/Sを維持

- 成長のための事業投資資金を確保するため、**有利子負債**が約3億8千万円増加
- 順調な利益の積み上げにより、**株主資本**が増加

### 貸借対照表

	2023/3	2024/3 1Q	前期末比
流動資産	9,317	9,365	100.5%
現預金	3,444	3,561	103.4%
売掛債権	4,283	4,039	94.3%
棚卸資産	1,418	1,522	107.3%
固定資産	819	827	101.1%
資産合計	10,136	10,193	100.6%
流動負債	5,798	5,789	99.8%
短期借入金	3,050	3,550	116.4%
一年以内返済予定			
長期借入金	444	428	96.4%
買掛金	1,430	1,208	84.5%
固定負債	910	817	89.8%
長期借入金	702	598	85.3%
負債合計	6,709	6,606	98.5%
株主資本	3,126	3,269	104.6%
資本金	100	100	100.0%
利益剰余金	2,245	2,388	106.4%
負債・純資産合計	10,136	10,193	100.6%

## 通信建設テック事業が好調に推移し、 売上・利益とも順調に確保

- 通信建設テック事業が引き続き好調だったことにより  
売上・利益とも順調に確保

### 損益計算書

	2023/3 1Q	2024/3 1Q	前期比
売上高	3,587	3,828	106.7%
売上原価	2,867	2,923	101.9%
売上総利益	720	905	125.7%
販売費及び一般管理費	547	667	122.0%
営業利益	172	237	137.5%
営業外収益	3	1	37.5%
営業外費用	28	13	48.1%
経常利益	147	224	152.9%
税金等調整前当期純利益	147	224	152.9%
法人税等合計	43	73	169.2%
当期純利益	103	151	146.1%
非支配株主に帰属する当期純利益	2	7	357.6%
親会社株主に帰属する当期純利益	101	143	141.5%

# 03

## 2024年3月期業績予想



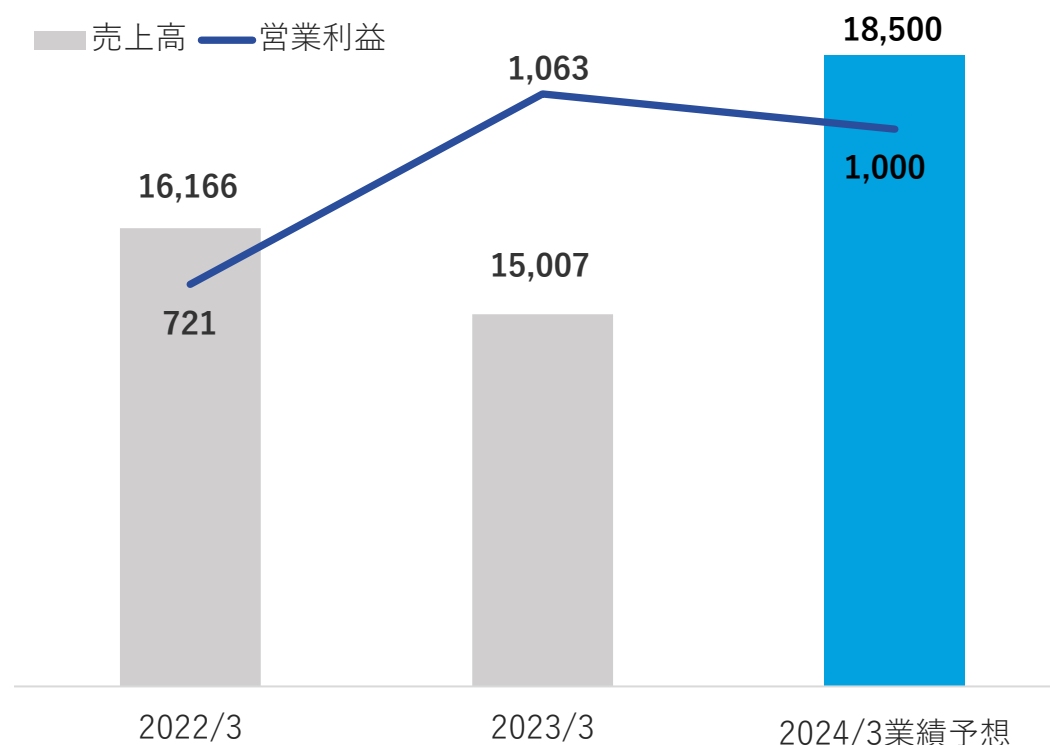
## 第2四半期累計期間で各段階利益を上方修正も 通期予想は据え置き

### 通期予想

売上高 : 18,500 前期比 : 123.3%

営業利益 : 1,000 前期比 : 94.0%

第2四半期累計期間での業績予想は上方修正したものの、  
収益化の下期偏重、当初から見込む更なる事業の成長を図るための  
投資の実行が下期にずれ込んでいることから、通期予想については、  
一旦据え置きとしております。



# 04-1

## セグメント別概況 (メモリ・PC関連デバイス・IoT)



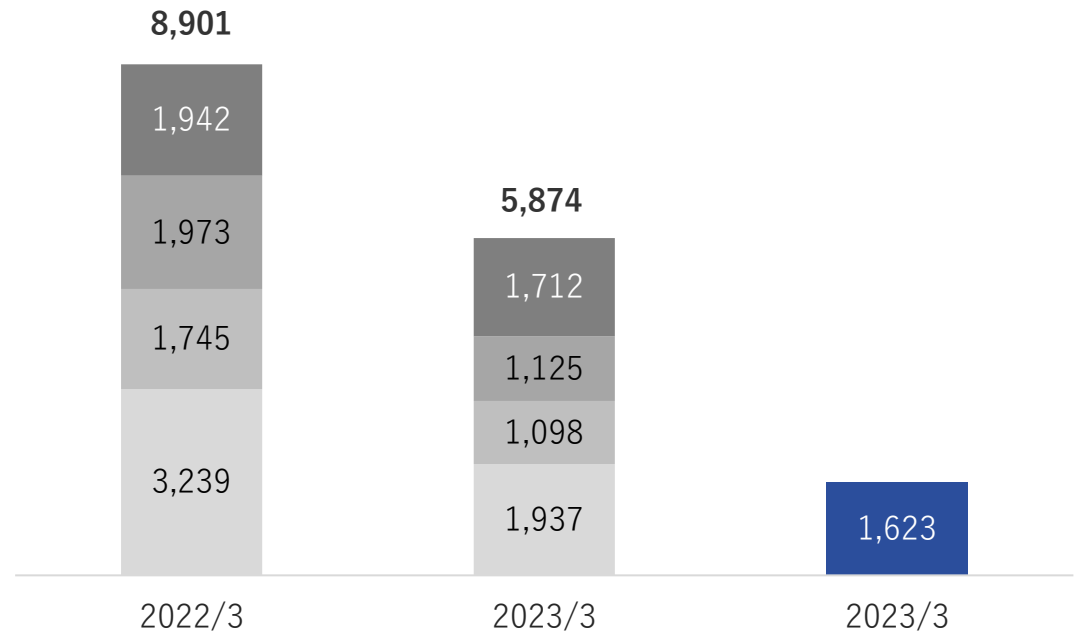


# PC需要の落ち着きに起因し売上高については減収

- コロナ禍及びウクライナ危機及び米欧州並びに中国等のマクロ経済環境の変動等の影響から引き続き部材の調達環境などへの注視が必要
- 法人向けや産業用製品の需要は回復しつつあり、長納期化対策への対応を推進し、販売機会の拡大を図る
- PC需要の落ち着きに伴い、メモリ関連製品の売上高が前期4Qに比べ回復してはいるものの、1Qに比べては減少
- B2C向け商品の拡充を更に推進し、販路の多様化及び利益の獲得構造の多様化を図る
- 一次産業向け等のIoT関連製品の開発を推進し、新たな事業の柱としての育成を更に推し進める

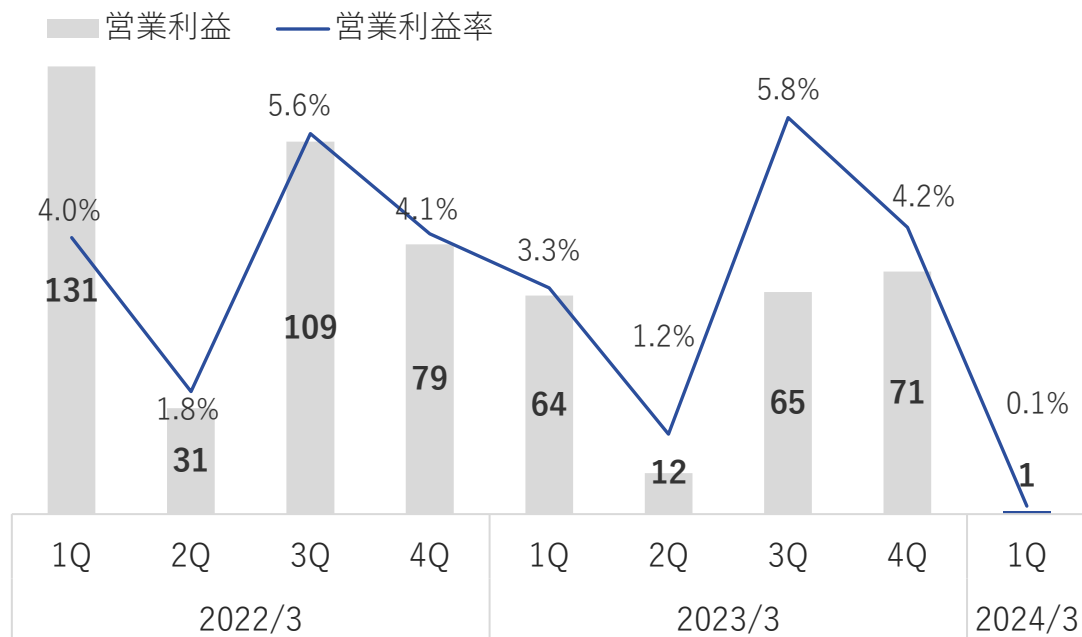
売上高

■ 4Q ■ 3Q ■ 2Q ■ 1Q

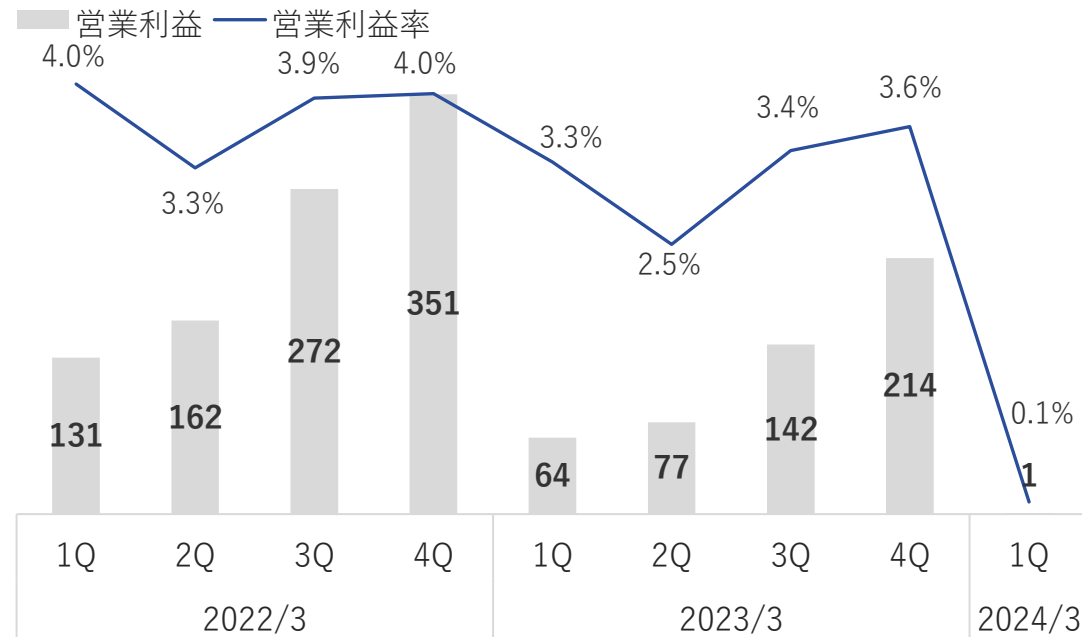


# 一時的な減益も、収益構造の見直しによる回復を推進

営業利益 会計期間



営業利益 累計期間



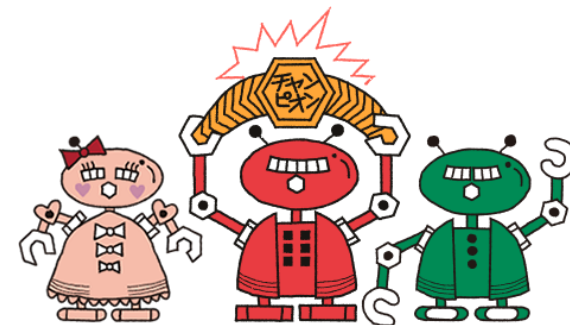
- PC需要の落ち着きに伴い、メモリ関連製品の獲得利益が減少
- 部材の調達難などにより電子部品の取得原価が高騰。代替品を利用したため、利益率の低下が発生
- サプライチェーンの滞留による部材の調達への制限が継続し、購入需要を全て消化しきれていない環境は継続している
- 新製品の開発及び既存事業を活用した新ビジネスモデルの構築により収益獲得構造の見直しを更に推進
- 新規商材の検討・調達のための先行投資及び新製品の開発のための販管費の増加等により、当1Qでは利益額が減少

## 「第28回かわさきロボット競技大会」をスポンサーとして協賛

～ものづくり人材の育成、そしてさらに未来への飛躍に貢献～

次世代産業を担う技術者の  
育成、技術力の向上を図る  
大会目的に賛同

「新たな価値を創造するソリューションカンパニー」として「若者のものづくり登竜門」として知られる「かわロボ」へ、2022年より協賛しております。ハイレベルなチーム戦により切磋琢磨する「かわロボ」への協賛により、「ものづくり人材の育成」に貢献いたします。本大会の開催目的に寄与することにより、地域社会・地域住民への貢献、産業の活性化に繋がるものと期待しております。



### 大会概要

「かわさきロボット競技大会」は、脚・腕構造を持つラジコン型ロボットによる異種格闘技戦です。本大会は、総合技術的なロボットの製作に携わることによる具体的なものづくりを体験する場を提供し、次世代産業を担う技術者の育成、技術力の向上を図ることを目的に1994年から開催されております。機体の設計から製作まで一連の過程に関わることで、様々な知識と技術が備わることから”ものづくり登竜門”として親しまれ、今回で28回目を迎えることができました。

かわさきロボット競技大会  
KAWASAKI ROBOT Festival

▼ホームページ

<https://kawasaki-sanshinkaikan.jp/robo/>

(「かわロボ」で検索)

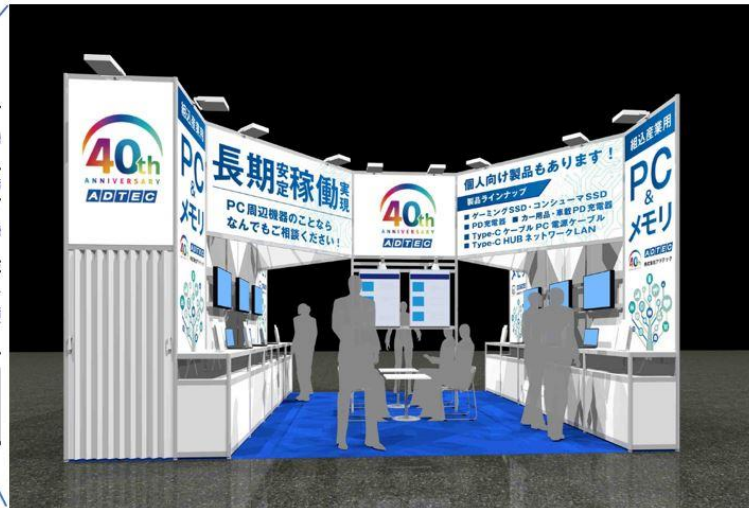
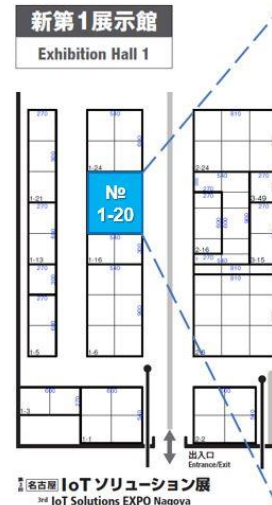


# 「2023 Japan IT Week 名古屋」の「第3回 [名古屋] IoTソリューション展」に出展



2023年7月19日（水）～2023年7月21日（金）の3日間、ポートメッセなごやにて開催されました、「2023 Japan IT Week 名古屋」における「第3回 [名古屋] IoTソリューション展」に出展致しました。同展示会は、IoTシステムの構築に必要な無線通信技術、センサーや遠隔監視、生産管理などのアプリケーションなど今話題の5Gソリューションが集う展示会で、多数のご来場をいただきました。

## 第3回 名古屋 IoTソリューション展



## 直感型LEDにAIカメラと通信機能を搭載した 次世代防犯カメラの開発支援を継続中

鉄道事業者向け製品の  
開発支援を継続中

鉄道業者以外にも営業開始

株式会社MASS (<https://k-mass.jp/>) のリアルタイム防犯カメラ搭載LED照明

【LED-AI】 (<https://www.led-ai.jp/>) の開発支援を行っております。

本製品は、既存のLED照明と取り換えるだけ（電気・配線工事のコストが不要）で、店内や車両内などの様子について、リアルタイムでの見守りが出来る製品となっています。

本製品の開発支援を行うと共に、現在取り組んでいる当社事業への展開も含め、協業ビジネスの拡大を進めております。

特許申請・取得済

リアルタイム防犯カメラ搭載LED照明



# LED-AI

これからは、LED照明で防犯対策。

- リアルタイム  
ストリーミング対応
- G13、GX16t-5の  
口金対応
- Wi-Fi 4/5/6  
+4G対応  
(新旧規格対応)



新発想のビジネス提案  
MASS

## 超高精度アイソレーションアンプ（絶縁アンプ）「LX210」 量産供給を開始にあたり、評価用サンプルの販売を開始

長寿命と高精度を  
求められる分野に特化

産業機器分野で定評のある[CRBOX]ブランドの超高精度アイソレーションアンプ（絶縁アンプ）「LX210」のお客様評価用サンプルを2023年5月23日に供給開始いたしました。  
なお量産供給開始は2023年9月下旬を予定しております。

### 超高精度のアイソレーションアンプ（絶縁アンプ）とは

アドテックCRB事業部は、CRBOXブランドのアイソレーションアンプを40年前から開発・供給しており、産業機器やインフラ等の高信頼性を求められる分野への供給実績が多数あります。

LX210は、3ポートのトランス方式を採用しており、CRBOXが創業以来培ったアナログ回路技術により開発されました。特に長寿命と高精度を求められる分野に特化した製品です。

※ご要望によりカスタマイズ可能です。



### [特徴]

- 3ポート・アイソレーション：入力、出力、電源
- 高CMVアイソレーション：2500V rms、±3500Vp
- 低非直線性：±0.010% (max)
- 高CMR：125dB (G=100V/V)
- 周波数特性に優れている
- ゲインの温度特性 ±30 [ppm/°C]max
- 定格電圧：15VDC ±10%
- サイズ：28.0mm×54.9mm×19.0mm（ピン長4.0mm含む）

# 04-2

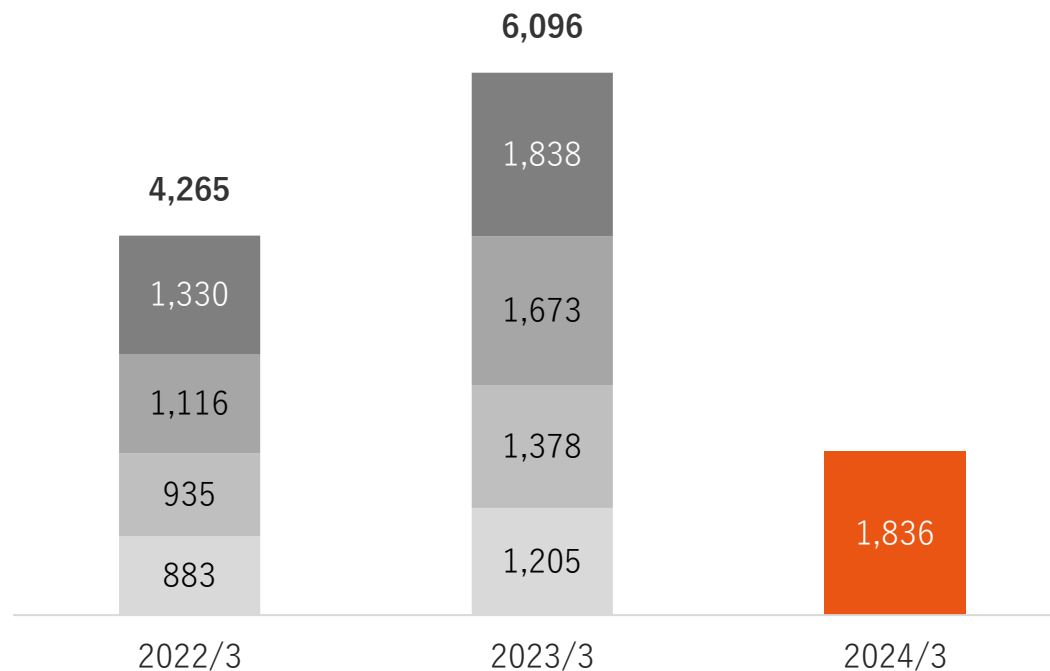
## セグメント別概況 (通信建設テック)



## 前期に引き続き好調を維持、1Qとして過去最高の売上高を達成

- キャリア3Gサービス終了に伴う関連工事が引き続き堅調、通信建設工事の受注件数も高水準を維持
- コンタクトセンター事業において各種新規案件の獲得を推進し受注件数が伸長
- 既存事業の収益化及び新規案件の開拓を推進することで、更なる成長を図る方針

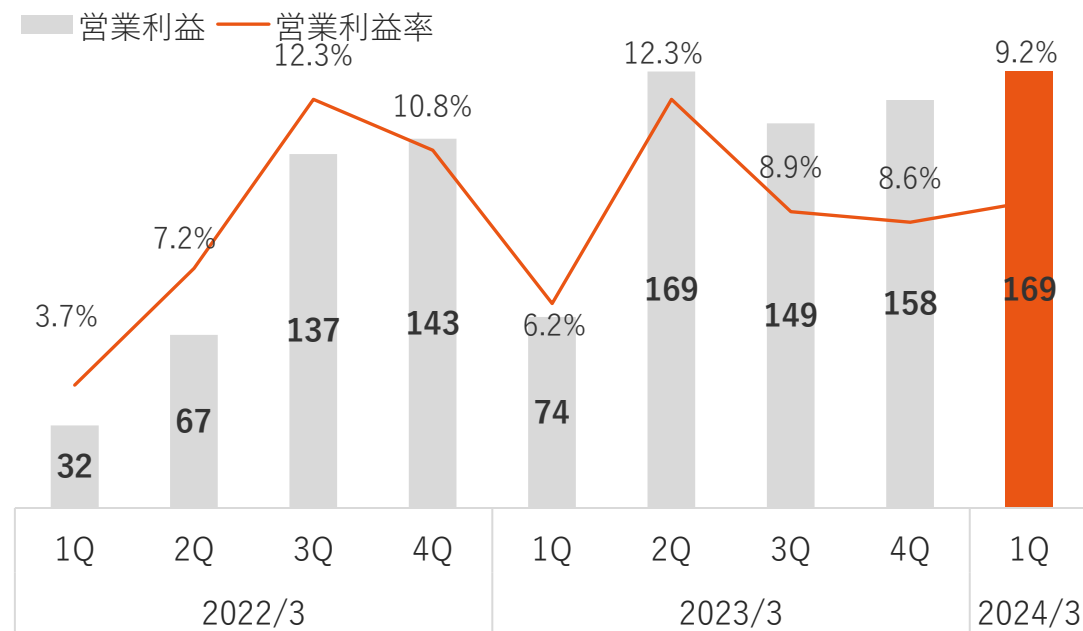
売上高

■ 4Q ■ 3Q  
■ 2Q ■ 1Q

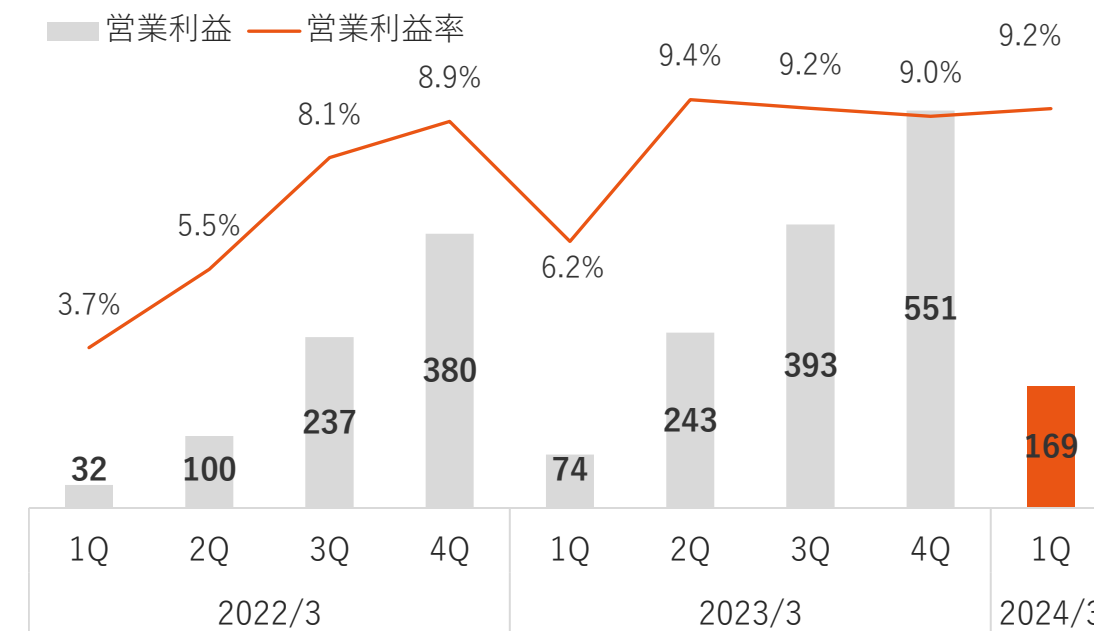


# 売上高と同様、引き続き好調を維持し、 1Qとして過去最高益を達成

営業利益 会計期間



営業利益 累計期間



- キャリア3Gサービス終了に伴う関連工事を中心に各種通信建設工事の完工件数が増加
- コンタクトセンターの増床に伴う稼働ブースの拡張や適正化により効率化を推進し、収益性が向上

# みちよぱ氏と平成ノブシコブシ吉村氏の「マブマブTV」とバディネットがコラボした新プロジェクトが始動

プレスリリース 2023.06.12



配信 2023.06.11



配信 2023.06.16



## 需要の拡大するサービスロボットの導入・保守支援を開始

**Phase.01**  
折衝業務

ご契約成立後、店舗への導入までに必要な各種調整業務を代行いたします

**Phase.02**  
設計

ご希望する提供箇所をヒアリングし、ロボットの仕様に沿った走行ルートを設計いたします

**Phase.03**  
導入作業

マッピング作業および走行テストを行い、現地顧客へ使用方法等のレクチャーを実施いたします

**Phase.04**  
問い合わせ窓口

コールセンター、メール、チャットなど、顧客のニーズに沿ったサポートサービスが提供可能です

**Phase.05**  
オンサイト保守

障害発生時の現地駆けつけ保守対応を実施いたします

## マーケットの拡大が見込める新工事領域にも進出



2022年11月29日付で完全子会社化した株式会社リーバンの強みである、通信土木・土木工事と、バディネットの「通信建設テック（R）」を掛け合わせることで、マーケットの拡大が見込める新工事領域へ進出。今後も両社のシナジーで、通信建設工事の旺盛な需要に広く応えるべく、事業領域の拡大を目指して参ります。

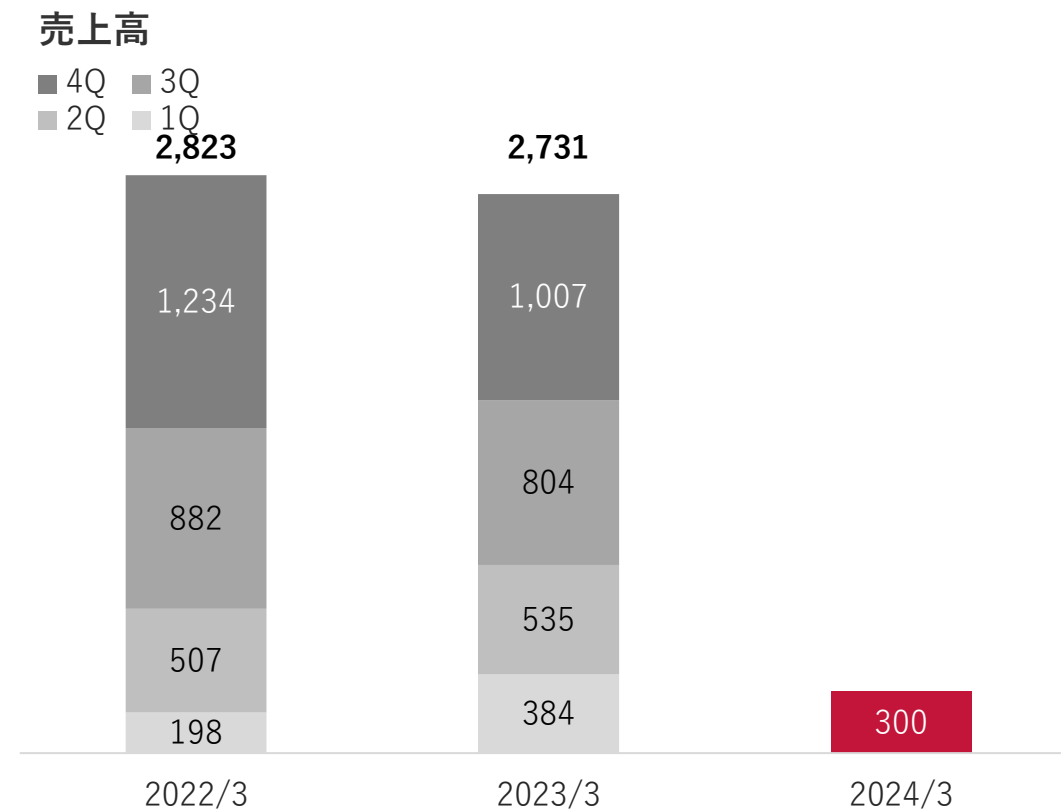
# 04-3

## セグメント別概況 (HPC事業)



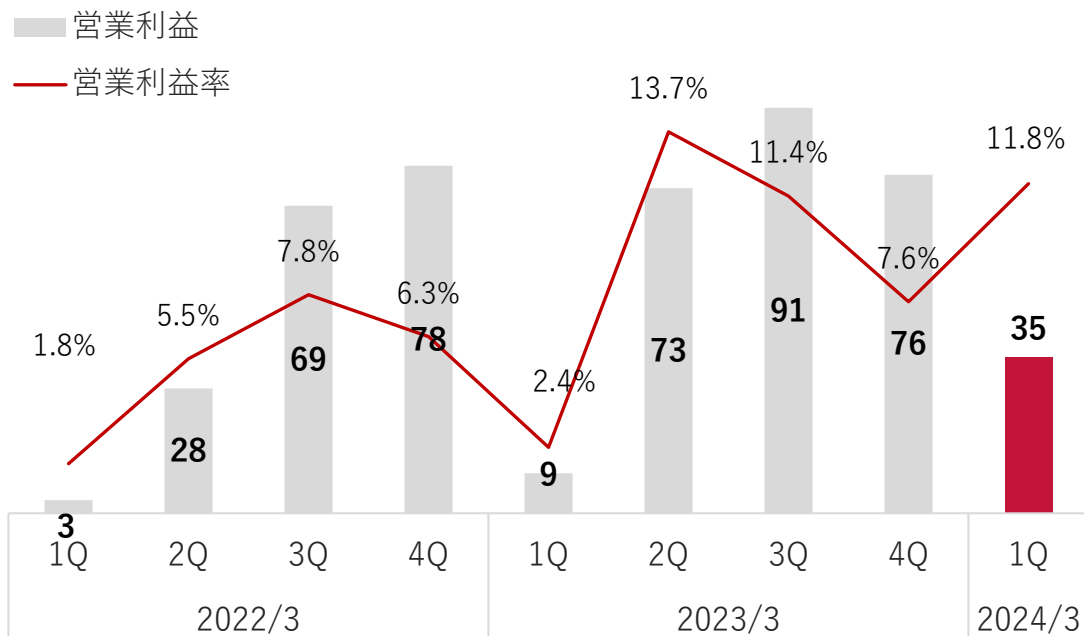
# 1Qとして、堅調に売上を積み上げ、前期規模の売上高を確保

- 拠点増設、営業人員の確保及び販売力強化を推進し、更なる収益力の向上に努める
- コロナ禍の影響により減少していた学会の再開が進む  
対面販売の機会を増加し、売上の拡大を推進

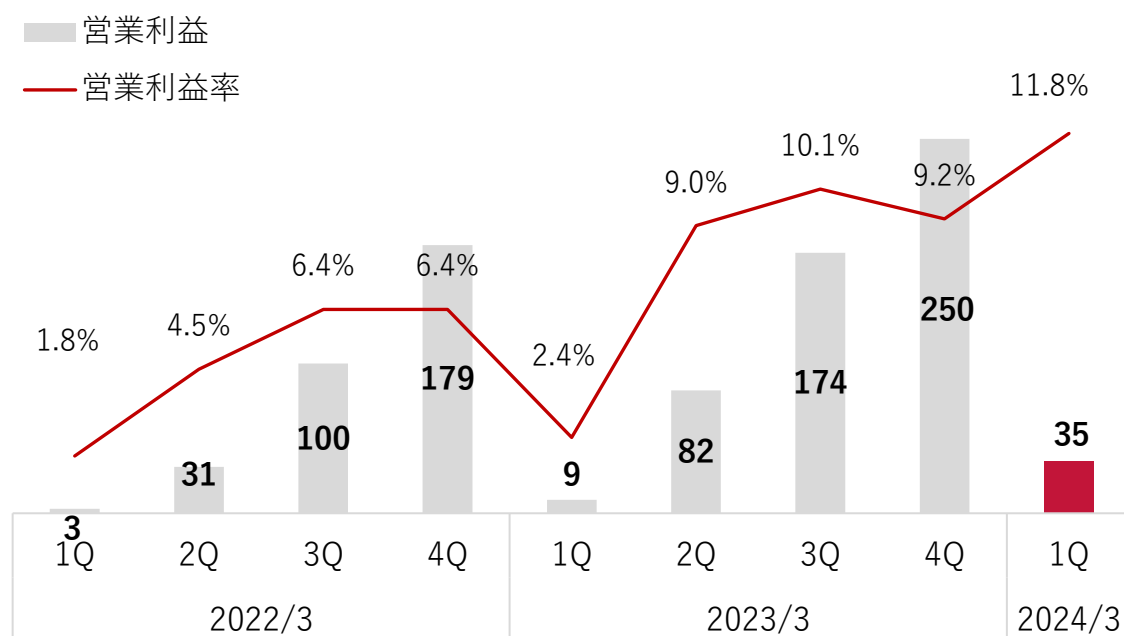


# 1Qとして過去最高益を達成、順調に利益を確保

営業利益 会計期間



営業利益 累計期間



■ コロナ禍及びウクライナ危機による部材の調達難及び原価の高騰並びに円安の影響により、利益率の確保に関し懸念点があったものの、部材の先行取得及び付加価値の向上を進める事により、好調に利益を獲得

■ 対面販売機会の増加により、キャンペーンカタログ等の販売ツールの充実を促進、収益機会の獲得向上に努める

## 学会・展示会への参加が回復 実機を展示し対面営業を促進

学会・展示会への参加  
【機器展示】

第25回理論化学討論会  
2023年5月実施  
(神奈川県横浜市)

第28回計算工学講演会  
2023年5月実施  
(茨城県つくば市)

JSAI2023 2023年度人工知能学会  
全国大会 (第37回)  
2023年6月実施  
(熊本県熊本市)





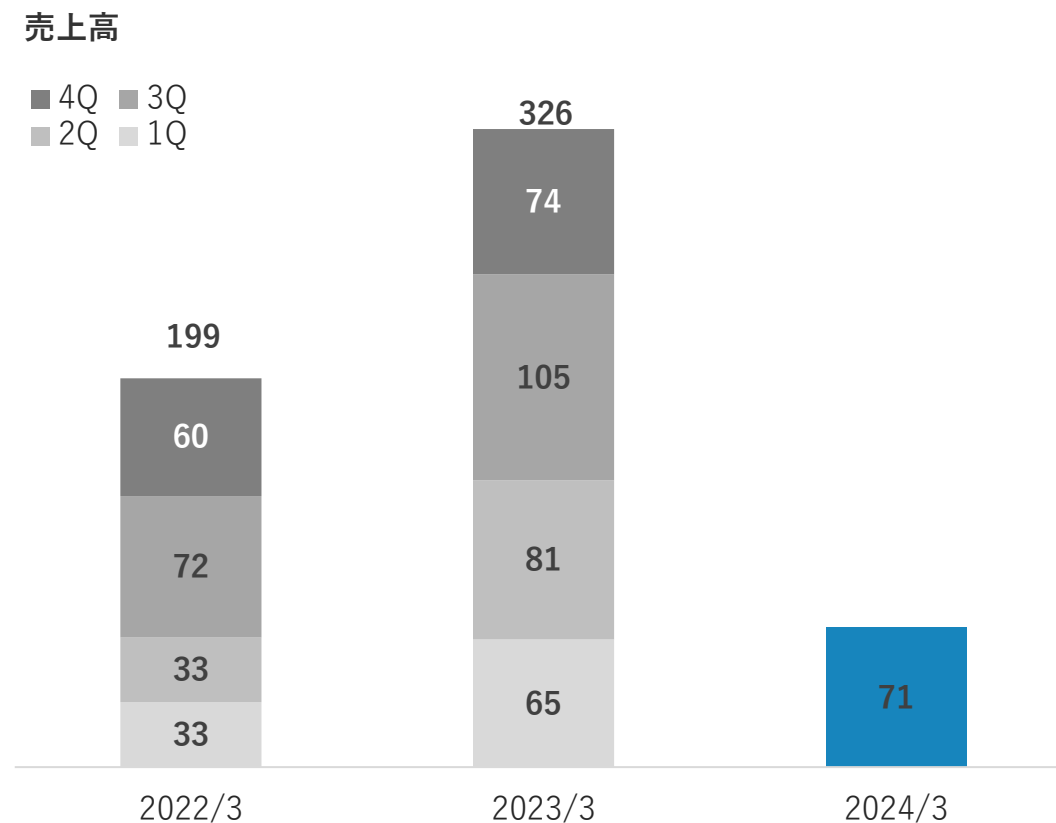
# 04-4

## セグメント別概況 (その他事業－旅館事業－)



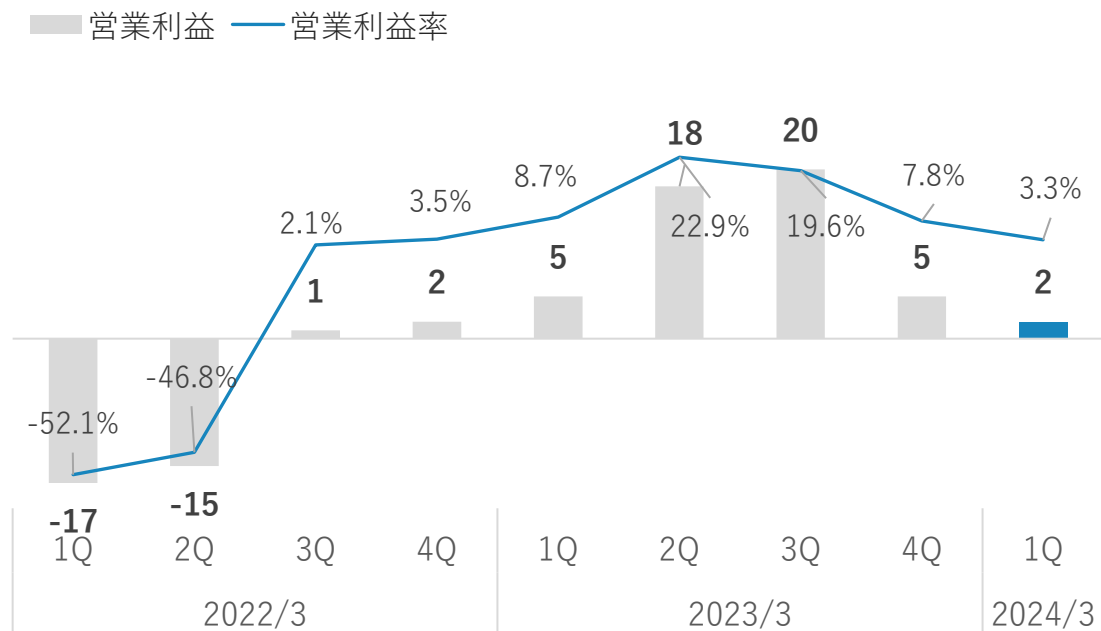
## 好調に顧客の獲得が進み順調に売上を確保

- 行動制限の解除及び全国旅行支援などにより売上が伸長
- 今後もコロナ禍の影響の存在が否めないものの、行政による観光対策の活用、広告等集客施策の効果的な利用により新規顧客を獲得するほか、リピート客の更なる掘り起こしにより、安定的な収益の獲得に努める
- 客単価の上昇、顧客満足度の向上に繋がる施策を展開、利益率の向上を進める方針

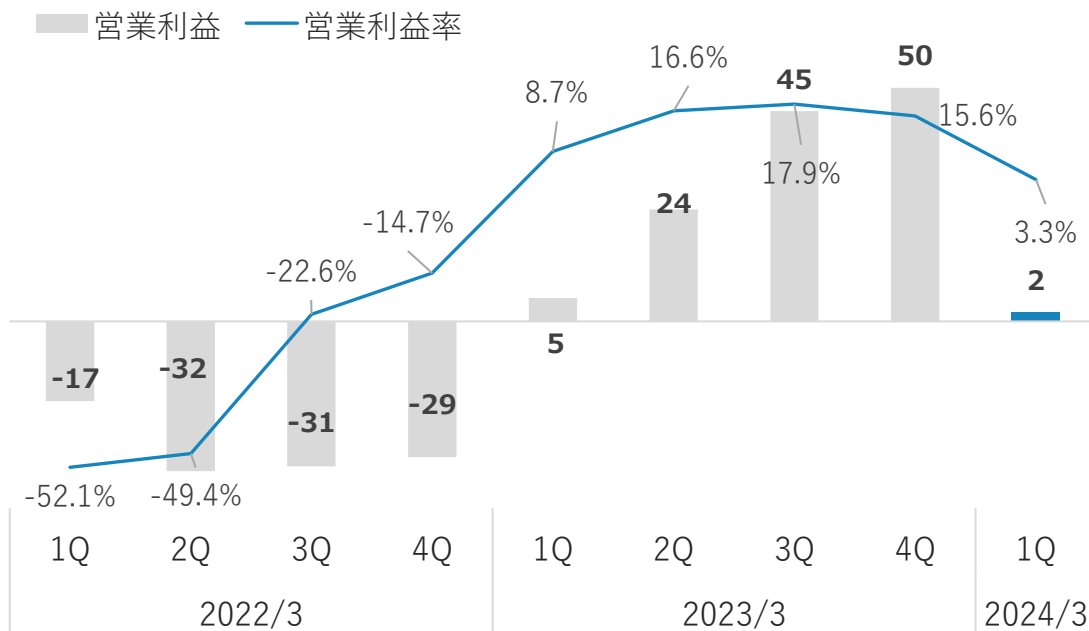


# 売上の拡大により、利益状況は好調に推移

営業利益 会計期間



営業利益 累計期間



- 改修により露天風呂付客室を増。屋外・屋内ドッグランを改修し、顧客満足度の向上を図る
- 追加オプションによる収益機会の多様化により、収益環境を改善
- オペレーションの効率化による原価構造の見直しにより、利益率の向上を推進

# ホスピタリティ溢れる接客により、同伴するペットにとっても最高の旅行経験とやすらぎの時をご提供

## 経験を積んだスタッフによるサービスの提供

お客様の大切なペットに、ストレス無く過ごしていただける様に、充分な研修・経験を積んだスタッフによるおもてなしをご提供

## 特別室などには愛犬用露天風呂も完備

お客様用の露天風呂の隣に愛犬用の露天風呂を備えた特別室などをご提供。お食事もおやすみもペットとともに過ごせます

## ペット専用メニューをご提供

鬼怒川の名産品を取り入れた、彩りが溢れるペット専用メニューをご提供



## ペット同伴可能な宿泊施設として、 他の宿泊施設と明確な差別化を図った事業



### 伝統ある鬼怒川温泉でペットと共に 温泉旅行を楽しめる

江戸時代中期に開湯された歴史と伝統のある鬼怒川温泉で、ゆっくりペットと温泉を楽しめる宿泊施設をご提供

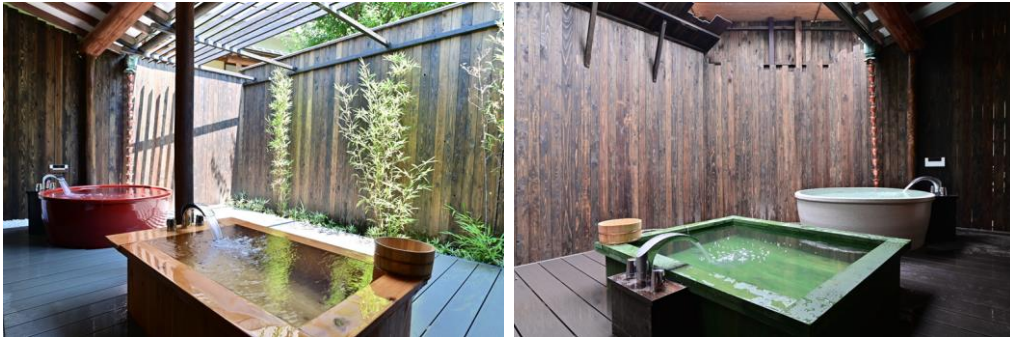
### 格式高い純和風旅館

182平米の迎賓室をはじめ、専用露天風呂を備えたペットと共に過ごす事のできる大型の純和風の客室を多数用意

### 高付加価値サービスの提供

格安な宿泊施設では得られない、高付加価値サービスを提供することで、他のペット可宿泊施設との差別化を図る

## 改修工事を進め、収益性・顧客満足度の向上を推進



### 露天風呂付きの客室を増室

人気の高い、露天風呂付きの客室を増室  
客単価の向上により更なる収益性の向上を期待

### ドッグランの改修を進め 顧客満足度の向上を図る

ドッグランの拡張・利便性の向上を図り、  
顧客満足度の向上を推進



# 05

## 参考資料



商号	株式会社AKIBAホールディングス（旧株式会社アドテック）
上場市場	東京証券取引所スタンダード（証券コード：6840）
設立	1983年2月17日
資本金	1億円
事業内容	持株会社としてグループ全体の経営戦略の策定・推進、グループ経営の監査、その他経営管理並びにそれらに付帯する業務
決算期	3月末
役職員数	370名（連結 2023年6月末日）
本社所在地	〒104-0045 東京都中央区築地2-1-17陽光築地ビル Tel：03-3541-5068(代表) Fax：03-6260-6258

役員	代表取締役社長 堀 礼一郎 取締役 会長 馬場 正身 取締役 CFO 管理本部長 五十嵐 英 取締役 管理本部副本部長 富山 理布 取締役 グループ監査室長 後藤 憲保 取締役（社外） 丸山 一郎 取締役（社外） 黒部 得善 取締役（社外） 後藤田 翔 常勤監査役 内藤 城次郎 監査役（社外） 石本 圭司 監査役（社外） 西田 史朗 監査役（社外） 中川 英之 補欠監査役（社外） 藤浪 努
会計監査人	KDA監査法人
株主名簿管理人	三井住友信託銀行株式会社



1980年代	1983.2	株式会社アドテックを設立（商号変更により現「株式会社AKIBAホールディングス」）
1990年代	1993.6	パソコン用増設メモリモジュールの製造販売を開始
	1998.11	日本証券業協会に株式を店頭登録
2000年代	2004.12	ジャスダック証券取引所（東京証券取引所JASDAQ（スタンダード））に株式を上場
2010年代	2013.5	株式会社エッジクルー（現 連結子会社/株式会社アキバデバイス）を設立
	2015.1	株式会社バディネット（現 連結子会社）を買収
	2015.10	株式会社AKIBAホールディングスに商号変更、新設分割により株式会社アドテック（現 連結子会社）を設立、純粋持株会社体制に移行
	2016.3	iconic storage株式会社を買収
	2017.1	株式会社HPCテック（現 連結子会社）を買収
	2019.7	ウェブソリューション事業を株式会社バディネットに移管、通信コンサルティング事業に統合
2020年代	2020.5	株式会社ダイヤモンドペット&リゾート（旧 株式会社AKIBA LABO福岡）にて新規事業（ペット同伴温泉旅館「鬼怒川 絆」の運営）開始
	2020.10	ペット同伴温泉旅館「鬼怒川 絆」 グランドオープン
	2020.10	株式会社バディネットが株式会社トランセンエンジニアリングを買収
	2021.4	株式会社バディネットがiconic storage株式会社と株式会社トランセンエンジニアリングを吸収合併
	2021.10	株式会社アドテックがシーアールボックス株式会社を買収
	2022.4	東京証券取引所の市場区分の再編に伴い、東京証券取引所スタンダード市場へ移行
	2022.10	株式会社アドテックがシーアールボックス株式会社を吸収合併
	2022.11	株式会社バディネットが株式会社リーバン（現 連結子会社）を買収
	2022.12	株式会社エッジクルーから株式会社アキバデバイスに商号変更

# Business Domain

## DXを次のステージへ

先進的なサービスを有するビジネスが集結

AKIBAホールディングスグループは多様なカテゴリーで社会全体のDX推進に取り組み発展させていきます。

